



ダッシュボード

この章では、Cisco Nexus Data Broker ダッシュボードについて詳しく説明します。ダッシュボードは、複数のコンポーネントとデバイスからの情報を統合された表示にまとめます。

リリース 3.10.1 から、Cisco Nexus Data Broker (NDB) の名前は、Cisco Nexus Dashboard Data Brokerに変更されました。ただし、GUIおよびインストールフォルダ構造と対応させるため、一部のNDBのインスタンスがこのドキュメントには残されています。NDB/Nexus Data Broker/Nexus Dashboard Data Brokerという記述は、相互に交換可能なものとして用いられています。

- [ダッシュボード \(1 ページ\)](#)

ダッシュボード

ダッシュボードの目的は、ネットワーク管理者とストレージ管理者が Cisco Nexus Dashboard Data Broker の健全性とパフォーマンスに関する特定の領域に集中できるようにすることです。この情報は、24 時間のスナップショットとして提供されます。

メニューバーから **[ダッシュボード (Dashboard)]** を選択します。 **[ダッシュボード (Dashboard)]** ウィンドウには、次のダッシュレットが表示されます。

- **リソース別のステータス** — Nexus Dashboard Data Broker コントローラに接続されているリソースのステータスは、色分けされた丸で表示されます。リソースは次のとおりです。
 - NDB デバイス
 - 入力ポート
 - フィルタ
 - モニタリングツール
 - Connections
- **処理済みデータ/受信済みデータ (Data Handled/Received since)** 日付 (*date*) : 示された日付以降に Nexus Dashboard Data Broker コントローラによって受信および送信されたデータの総量。
- **[クラスタ ランタイム (Cluster Runtime)]** — 現在のクラスタのランタイム。

- **クラスタの最後の再起動 (Cluster Last Restart)** : クラスタが最後に再起動された日時。
- **パケット数別の上位接続 (Top Connections by Packet Count)** (色分けされたバーで表示) : パケット数 (接続のフローによって処理された合計パケット数) に基づく接続と、パケット数に基づく接続のおおよその帯域幅。リストは降順です。パケット数が最も多い接続が上部に表示されます。
- **受信パケット数別上位入力ポート (Top Input Ports by Received Packet Count)** (色分けされたバーで表示) : ポートで受信したパケット数に基づく入力ポート。リストは降順です。受信パケット数が最も多い送信元ポートが上部に表示されます。
- **送信パケット数別の上位モニタリングツール (Top Monitoring Tools by Transmitted Packet Count)** (色分けされたバーで表示) : 送信パケット数に基づくモニタリングツール。リストは降順です。送信パケット数が最も多いモニタリングツールが上部に表示されます。
- **フィルタリングされたパケット数による上位のフィルタ (Top Filters by Filtered Packet Count)** (色分けされたバーで表示) : ACL でフィルタリングされたパケット数に基づいてフィルタリングします。リストは降順です。パケット数が最も多いフィルタが上部に表示されます。
- **TCAM リソース使用率別の上位デバイス (Top Device by TCAM Resource Utilization)** (色分けされたバーで表示) : TCAM リソース使用率に基づくデバイス。リストは降順です。使用率が最も高いデバイスが上部に表示されます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。